

(3) 夫婦の子育て

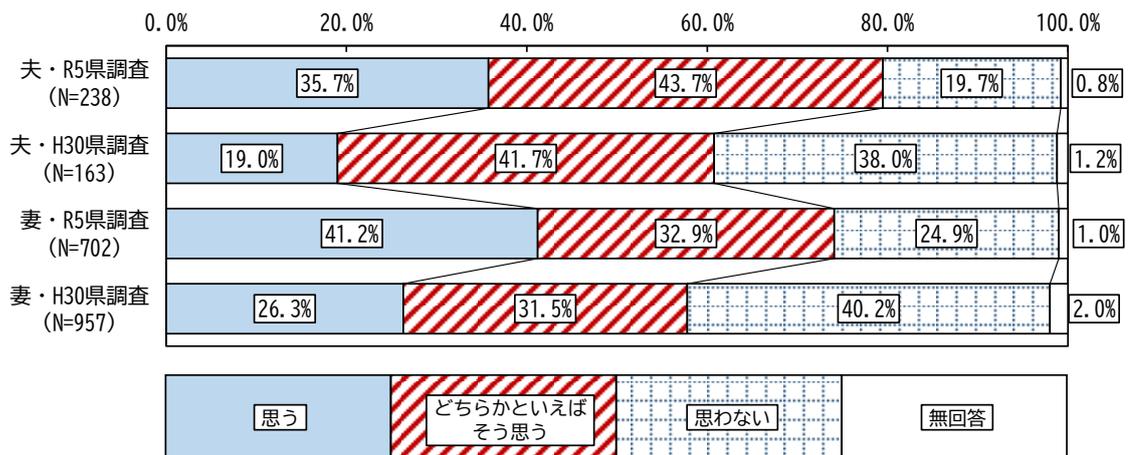
結果のポイント

- 夫婦ともに育児・家事を積極的にする男性だと思う割合が前回調査の2割前後から4割前後まで上昇。
- 子育てに関する一体感は夫婦ともに9割弱で前回調査から上昇している。ただし、「まったくそう感じる」割合は夫のほうが妻より 11.9 ポイント高くなっており、前回同様、夫が感じているほど妻は一体感を感じられていない。
- 夫が育児に関わらない理由は、夫婦ともに「仕事が忙しいから」が最も割合が高いが、妻は夫に比べ「夫が(あなたが)、育児や家事は女性がするものという考えを持っているから」「関心がないから」など夫の意識も主要な理由としている。

① 育児・家事を積極的にする男性だと思うか

夫が育児や家事を積極的にする男性だと思う妻は、「思う」が41.2%、「どちらかといえばそう思う」が32.9%で、合計74.1%となっている。夫が自分自身を育児や家事を積極的にする男性だと思うかどうかは、「思う」が35.7%、「どちらかといえばそう思う」が43.7%で、合計79.4%となっており、妻よりも5.3ポイント高くなっている。

図表 育児・家事を積極的にする男性だと思うか



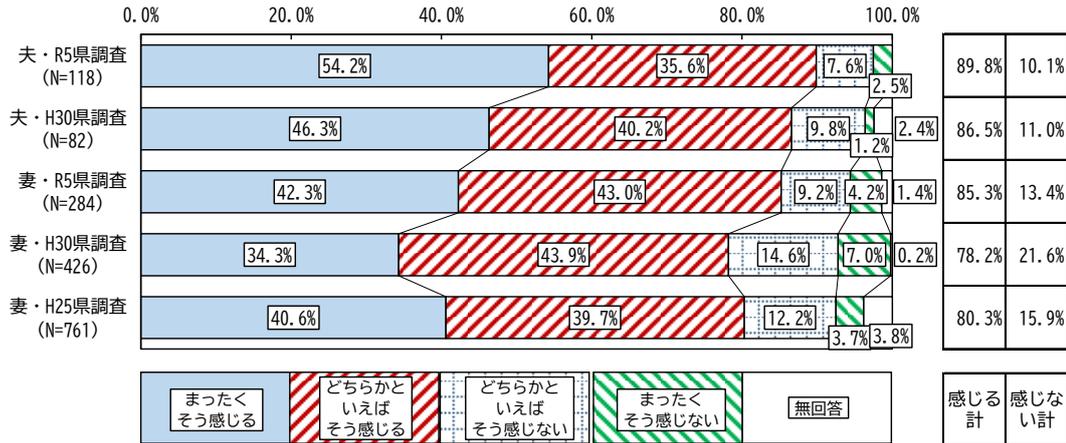
※H30 県調査では質問文が『あなた（あなたの夫）はイクメン（育児を積極的にする男性）だと思いますか』である点に留意が必要である

② パートナー（夫または妻）と一緒に子育てをしていると感じている

「まったくそう感じる」の割合は、夫で 54.2%、妻で 42.3%と夫の方が 11.9 ポイント高く、感じる計でみても、夫が 89.8%、妻が 85.3%と、夫の方が 4.5 ポイント高くなっており、一体感の感じ方に夫婦差がみられる。

前回調査と比べると、夫では「まったくそう感じる」が 7.9 ポイント、感じる計が 3.3 ポイントと、ともに上昇している。妻でも、「まったくそう感じる」が 8.0 ポイント、感じる計が 7.1 ポイントと、ともに上昇している。

図表 パートナーとの子育て一体感（6歳未満の子どもがいる家庭）



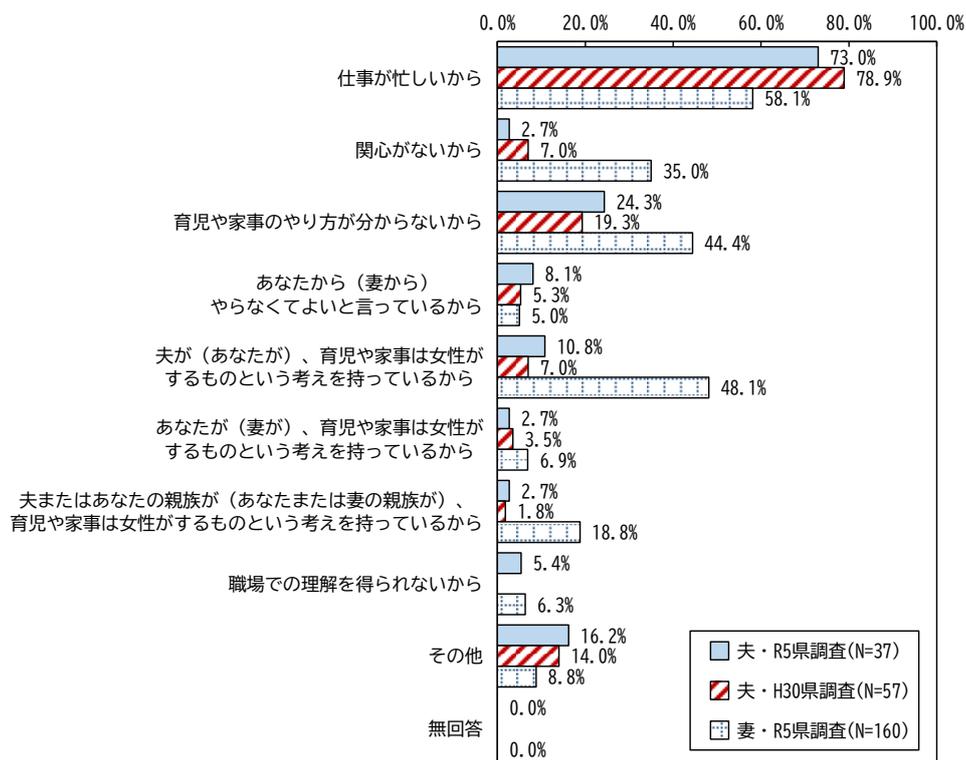
※H25 県調査の調査対象は妻のみ

③ 夫が育児・家事に関わらない理由

育児・家事に関わらない夫側の理由をみると、「仕事が忙しいから」が73.0%で最も多く、次いで、「育児や家事のやり方が分からないから」が24.3%となっている。一方、妻側が考える理由は、「仕事が忙しいから」が58.1%で最も多く、次いで、「夫が、育児や家事は女性がするものという考えを持っているから」が48.1%、「育児や家事のやり方が分からないから」が44.4%となっている。

夫と妻を比べると、夫は「仕事が忙しいから」が14.9ポイント妻より高く、妻は「夫が、育児や家事は女性がするものという考えを持っているから」が37.3ポイント、「関心がないから」が32.3ポイント、「夫またはあなたの親族が、育児や家事は女性がするものという考えを持っているから」が16.1ポイント夫より高く、大きな差がみられた。

図表 夫が育児・家事に関わらない理由



※ () 内は夫側の理由

※H30 県調査では夫のみに聴取。また、無回答の掲載なし

※「職場の理解を得られないから」は今回調査からの新規項目